

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和5年11月10日（金） 発行人：校長 森内 秀学

楽しみを伝え、笑顔と拍手をあふれさせよう！

いよいよ間近に迫った時小発表会。今回のスローガンは、「楽しみを伝えたい！笑顔と拍手があふれる時小発表会」です。子どもたちが作ったスローガンに、「たい」とか「あふれる」といった言葉がさり気なく入っているところは、校長として嬉しい限りです。

ではその、「楽しみを伝え」たり、「笑顔と拍手があふれ」たりするために、子どもたちはどのような点がんばっているのでしょうか。

教室や体育館を見て回りながら私が見つけた工夫は、次の10個です。

- ① 大きくはっきり言う
- ② 笑顔をつくる
- ③ 大きく動く
- ④ きびきび動く
- ⑤ 礼儀正しくする
- ⑥ 客席を見ながら発表する
- ⑦ 丁寧に歌う・演奏する
- ⑧ 声に抑揚を付け、感情が伝わるようにする
- ⑨ 顔がよく見えるよう間隔をとる
- ⑩ どんな学習をして何を発表したいのか伝わるよう活動内容を分かりやすく紹介する

サッと見ただけで10個の工夫があるのですから、隠れた秘密はもっとあるはず。明後日、子どもたちの楽しみが伝わった際には、笑顔で盛大な拍手をお願いします！



時津町児童生徒読書感想発表・ビブリオバトル大会

10月28日（土）は、とぎつカナリーホールにて、標記の会が開催されました。時津小の代表者は、3年2組の山中駿輝（としき）さん（左写真）と、4年1組の坂本朝穂（あさひ）さん（右写真）。

左上に映し出されている本を読んだ感想文をそれぞれ発表したのですが、二人ともあらずじに終始することなく、どんな文からどんな経験を思い出し、どんな感情が湧き起こったのかを、ゆっくり丁寧に話していました。学校の指導とご家庭での練習の成果が表れた、立派な発表でした。



九州電力未来絵日記コンクール3・4年の部 入選 石崎仁心さん

ご覧ください、立派な賞状とこの笑顔！標記のコンクールに出品し、見事入選を果たした、3年1組の石崎 仁心（にこ）さんです。テーマは、「何でも見えるメガネ」。虫眼鏡にも双眼鏡にも望遠鏡にもなる不思議なメガネをかけた自分の絵を、細かい点描で描きました。近くの小さな虫も遠くのツバメの巣も、このメガネがあれば大丈夫！夢が膨らむ素敵な作品ですね。